

とべとべ



No.91

題 字: 村井龍全さん(水墨画家)

イラスト: 長瀬ミオさん

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK通巻番号624号(毎月10日発行)

発行 2024年(令和6年)3月26日

編集人 札幌市中央区南8条西2丁目5-74-402

NPO法人「飛んでけ!車いす」の会

照井レナ 発行番号第91号

電話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定 価 100円(会員は会費を含む)

目次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4-5 とことんカレンダーリサイクル!
「チャリティカレンダー市」に参加
- P6 飛んでけと札幌市が「リユース活動の促進に向けた
試行事業に関する協定」を締結!
- P7 カムバック!? 若人ボランティアさん
- P8 車いす届けました
- P9 すおすだい
- P10-11 トピックス(さぼーとほっと基金の紹介ほか)
- P12 掲示板(イベント・お知らせ)

車いすを運んでいただきありがとうございます

寄付者：3名

車いすのご提供ありがとうございます

寄付者：12名

ご寄付ありがとうございます

● 寄付金

寄付者：13名

● リングプル、アルミ缶ほか

寄付者：7名

● 切手・書き損じ葉書

寄付者：1名

● カレンダー提供

寄付者：35名

● その他

寄付者：2名

(順不同、2023年11月16日～2024年2月15日)

Wheelchairs delivered to 83 Countries

◆アフリカ・欧州地区		◆アジア・太平洋地区		⑳ ベトナム	606
① ベラルーシ	11	① アフガニスタン	20	㉑ シリア	4
② ベナン	17	② バングラデシュ	46	⑳ フィジー	9
③ ブルキナファソ	24	③ ブータン	1	㉒ ミクロネシア	12
④ エジプト	2	④ カンボジア	232	㉓ バヌアツ	6
⑤ ガーナ	17	⑤ 中国	67	㉔ 東ティモール	3
⑥ ケニア	27	⑥ インド	24	㉕ ソロモン諸島	10
⑦ レバノン	1	⑦ インドネシア	130	㉖ サモア	4
⑧ マラウイ	24	⑧ イラク	5	㉗ 台湾	10
⑨ モーリタニア	2	⑨ ヨルダン	6	㉘ パラオ	5
⑩ モロッコ	11	⑩ 韓国	40	◆南米・中米・北米地区	
⑪ モザンビーク	1	⑪ キルギス	11	① アルゼンチン	16
⑫ ナミビア	1	⑫ ラオス	32	② ボリビア	4
⑬ ルーマニア	8	⑬ マレーシア	116	③ ブラジル	16
⑭ セネガル	1	⑭ モンゴル	32	④ キューバ	24
⑮ 南アフリカ	6	⑮ ミャンマー	53	⑤ ドミニカ	5
⑯ タンザニア	16	⑯ ネパール	144	⑥ エルサルバドル	57
⑰ チュニジア	6	⑰ パキスタン	50	⑦ ホンジュラス	12
⑱ ウガンダ	3	⑱ パプアニューギニア	31	⑧ ジャマイカ	9
㉒ ザンビア	25	⑲ フィリピン	249	⑨ ニカラグア	31
㉓ ジンバブエ	3	㉒ ロシア	10	⑩ ペルー	14
㉔ ナイジェリア	21	㉓ サイパン	2	⑪ セントルシア	1
㉕ エチオピア	5	㉔ シンガポール	25	⑫ ウルグアイ	14
㉖ ルワンダ	4	㉕ スリランカ	80	⑬ パラグアイ	8
㉗ カメルーン	5	㉖ タジキスタン	3	⑭ コスタリカ	8
㉘ ガボン	6	㉗ タイ	448	⑮ チリ	4
㉙ マダガスカル	10	㉘ トルコ	3	⑯ カナダ	2
㉚ ウクライナ	100	㉙ ウズベキスタン	46	⑰ メキシコ	2
◆日本(国内リサイクル)	175			⑱ エクアドル	32

2024年2月15日現在（網掛け部分は2023年12月16日以降の増加分）

※2020年8月から集計頻度が変更になりました。

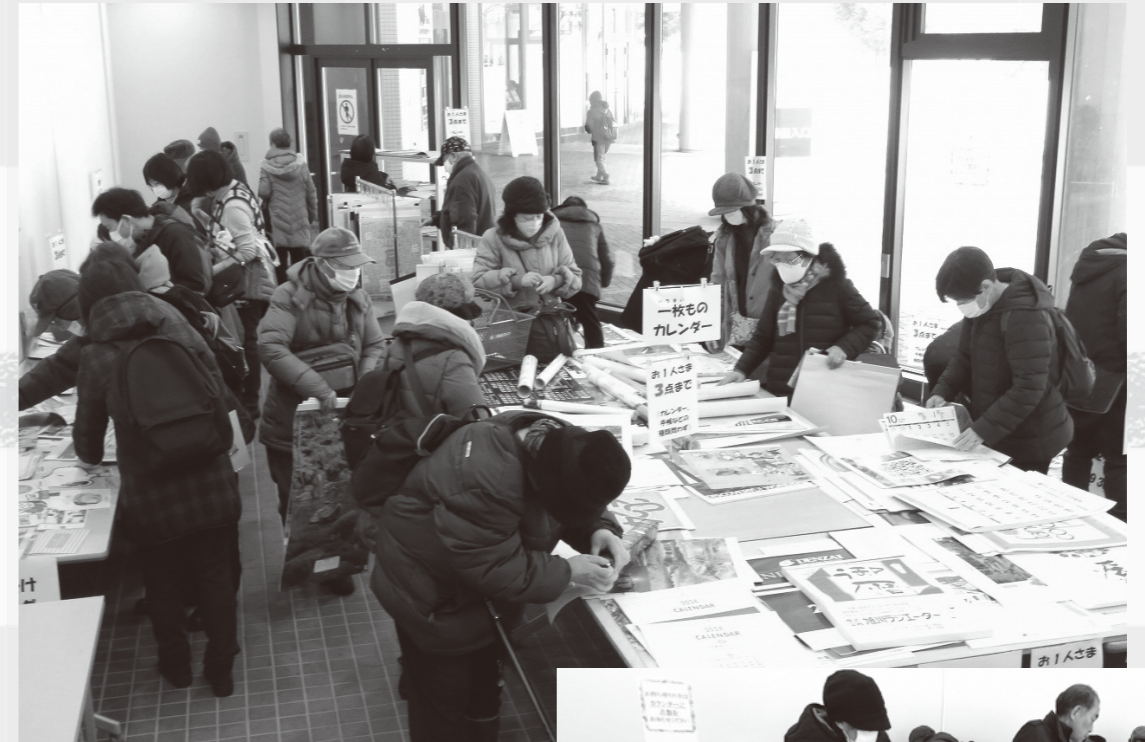
これに伴いホームページの台数情報と若干異なる場合がございます。

とことんカレンダーリサイクル！

「チャリティカレンダー市」に参加

年明けすぐの令和 6(2024) 年 1月5日、チカホ大通北広場の西側にて「カレンダーリサイクル市」を開催しました。掘り出し物のカレンダーや手帳が格安で買えるチャンスでもあることから、毎回多くの来場者でにぎわう人気のイベントです。およそ 40 の個人・団体の皆さまから提供していただいた 1,102 部のカレンダーを持ち込み、おかげさまで 41,750 円の売り上げがありました！

ご協力のおかげで一定の売り上げがあったことに、正直ホッとしています。その反面カレンダーの需要、カレンダーを購入される方々が、年を追うごとに少なくなっていると感じるのは私だけでしょうか？



以前は、企業や団体が自社名・団体名を入れたカレンダーを製作し、挨拶代わりに配布するのが年末の定番でした。しかし近年は、そうしたカレンダーを配る企業・団体がめっきり少なくなっているというのが個人的な感想です。スマホの普及などが影響しているのかもしれませんが、残念ながら今回持ち込ませていただいたカレンダーも、ご多分にもれず、若干残ってしまいました。

でも、せっかく提供いただいたカレンダー。決して無駄にすることなく、とことんリサイクルするのが私たちの理想です。そこで昨年より、余ったカレンダーをリサイクルプラザ宮の沢が開催するリサイクル市に提供させていただ

ています。

リサイクルプラザ宮の沢のカレンダー市では基本、ご来場いただいた皆様に無料でお持ち帰りいただく形を取っているようです。しかし今回は能登半島地震義援金として、任意での寄付を募ったそうです。その結果36,239円が集まり、全額が被災地に寄付されました。間接的にでも、能登の震災の義援金に本会が協力できたことを、とても嬉しく思います。

価値あれど廃棄されてしまっているものがリユースされて、多くの方に喜んでいただける取り組みをすること、これは飛んでけの理念と同じです。ひょっとすると来年は、飛んでけに提供いただくカレンダーをすべてリサイクルプラザ宮の沢のリサイクル市を経由して配布・販売していただくかもしれませんが、今後もこのような仕組みを想像力豊かにして考えていきたいですね。もったいない精神で。(報告:照井レナ)



飛んでけと札幌市が「リユース活動の 促進に向けた試行事業に関する協定」 を締結！

飛んでけと札幌市が協定を締結して、車いすのリユース活動の促進に向けた試行事業を開始します。

札幌市民から大型ごみとして排出される車いすは、なんと年間 500 台！その現状を改善すべく、飛んでけと札幌市が協力して、大型ごみの減量と廃棄される車いすのリユースの促進に取り組んでいく新たな取り組みです。

札幌市は「新スリムシティさっぽろ計画」の中で、ごみの減量目標を定めています。特にリユース等にも重点的に取り組みながら、環境負荷の少ない社会の実現を目指しています。

この協定では、これまで大型ごみとして排出されてきた車いすを、飛んでけの取り組みに誘導することでリユースを促進させ、ごみの減量につなげることを目的とします。令和 6 (2024) 年 3 月 15 日に札幌市と正式に調印を交わし、4 月 1 日から取り組みを開始します。

廃棄物→修繕→リユース…このサイクルを確実に回すためには、寄贈された車いすをリユースする仕組みを整えなければなりません。

そのための取り組みの 1 つとして、次年度から町内会や商店街、団体等に、災害時等で活用できる車いすを寄贈する事業をスタートします。各寄贈先には 1 年間の保証付きの車いすを 1 台ずつお渡ししていく予定。多くの札幌市民の皆様を活用いただければと願っています。



次年度は飛んでけが発足して 25 年の節目の年。この事業は飛んでけの「国内外の障がい者の QOL 向上」、「ボランティア活動の促進」の理念を実践として体現し、広く知っていただける機会でもあります。私たちは、この新たな取り組みを「25 周年事業」として確実に進めていく所存です。皆さん、ぜひご協力の程よろしくお願い申し上げます。

カムバック！？ 若人ボランティアさん

平成 6(2024) 年 2 月 24 日に開催した「車いすの学校」に、若き 3 人の皆さんが参加してくれました！大学 2 年生の加藤花凛さんと高正まなさんは天使大学に在学中で、看護学を学んでいる最中。そして音喜多真美さんは社会人 2 年目の SE=システムエンジニアさんです。

実は黎明期の 2000 年代初頭、飛んでけでは大学生ボランティアさんが、たくさん活躍していたんですよ。その時が戻ってきたようです。

現在は社会人の音喜多さんも、小樽商大に在学されていた当時にボランティア活動に勤しんだとのこと。今回の参加をきっかけに、得意の英語力を活かしてコーディネーターをしていただけることになりました。現在飛んでけコーディネート班では、メンバー内の情報伝達などをよりシンプルにするための仕組みづくりをしています。遅れ気味の飛んでけの DX にも貢献していただけると、大いに期待しています！（期待し過ぎ？）大学生の加藤さんと高正さんも、しばらくは車いすの学校に参加してもらえるとのこと。事務所の中が一気に若返り、にぎやかな飛んでけに！車いす整備の匠の皆さんも、ころなしか、いつもより嬉しそう？



車いす 届けました！ 届きました！



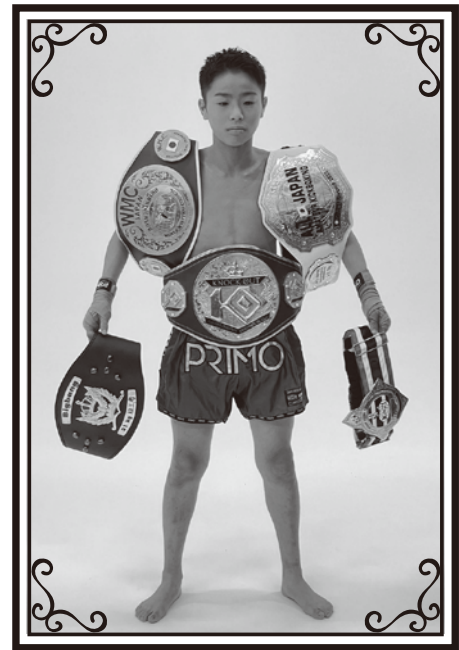
東京都在住の中学 2 年生野本琥太郎さんが、タイの Mrs.Najan Chaiyawan（ヌーチャン・チャイヤワン）さんに車いすを運んでくださいました。ありがとうございます！

車いすを空港で受け取ってくださったのはタイの NGO 「The Mission for Development Foundation」のスタッフで、その後、ヌーチャンさんのもとへと届けてくださいました。

ヌーチャンさんは目が見えないため、娘さんのジラワン・チャイヤワンさんから「母の車いすを手配して下さった皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。母が移動するのが楽になるので、とても助かります。」とお礼のお言葉が届きました。

琥太郎さんは、「今回このような機会をいただき、ありがとうございます。無事に車いすを必要な方に届けることができよかったです。ぼくは、タイのことが大好きなので、車いすを運ぶことで少しでもタイに恩返しをしたいです。これからもいろいろな活動をしていきたいです。」と今回の経験を通して感想を述べていました。

今回の琥太郎君のタイ訪問はムエタイの試合が目的でした。ジュニア世界選手権で見事優勝して、世界チャンピオンになられました。 凄い！おめでとうございます！



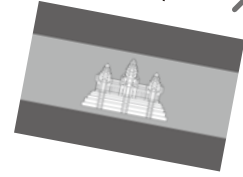
未来のチャンピオンが届けた車いす
野本琥太郎さん（東京都）



すおすだい カンボジア

< JICA 事業報告 >

「すおすだい」は
カンボジアの
クメール語で
「Hello」
だよ!



スオスダイ！

JICA 草の根技術協力事業担当の上杉です。今回もカンボジア事業について紹介します！

カンボジアのプノンペンで第4回車いす整備講習を開催

2月27～29日の3日間、カンボジアの首都プノンペンで第4回目となる車いす整備講習を開催しました！

前回の11月にポーサットでの開催に引き続き、プノンペンを中心に活動する現地団体である Phnom Penh Center for Independent Living(以下、PPCIL)との共催での開催です。PPCILからは、第1、2回の整備講習に参加したスタッフ4名と、「飛んでけ」からの整備士3名を講師として、16名の受講者が3日間に渡って整備技術を学びました。

参加者は、PPCILで支援を受けている車いすユーザーやスタッフに加え、障がい者支援を行っているケップ州の団体のスタッフや、子どもへの教育提供を行っているタクマオ州の団体からの医療スタッフも参加してくれました。



アンコール・ワットの街でも整備講習

プノンペンでの整備講習の後、3月5日にはアンコール・ワットで有名なシェムリアップで車いす整備講習を行う予定となっています(本原稿執筆日は3月4日)。次回はシェムリアップでの整備講習の様子も報告したいと思います。

第4回開催の会場は、第1回と第2回と同じく、White Bird Recycle Japan(萌運輸)を利用させて頂きました。

White Bird Recycle Japan のスタッフのみなさん、萌運輸さん、ご協力頂きありがとうございました。

それでは、チュオップ・クニア・ペール・クラオイ！(また今度！)

こちらのQRコードからカンボジア事業の情報を公開しているウェブサイトを見ることができます。



TOPIX

寄付する側 共にメリット さぼーとほっと基金 受ける側

車いす整備班の関公男さんが紹介

さぼーとほっと基金とは？

皆様こんにちは。ファンドレイジング担当の島田です。今回はさぼーとほっと基金についてご説明します。広く一般の方からの寄付を札幌市が募り、集まった寄付金を町内会やNPO法人などの事業活動に助成する基金です。これによって札幌市のまちづくりに貢献します。

さぼーとほっと基金の特徴

この制度には以下のような特徴があります。助成を受ける団体はもちろん、寄付された方にもメリットがある点が他の寄付と異なります。

○特長 1- 寄付先の選択肢がある

寄付先について団体や活動分野、活動テーマを指定できます。

○特長 2- 税額控除が受けられる

寄付することで法人の場合は法人税が、個人の場合は所得税と個人住民税が軽減されます。控除額の算出方法は(控除対象寄附金の合計額※-2,000円)×10%です。

たとえば5,000円寄付した場合、300円の税額控除が受けられます。

※総所得金額等の30%が上限です。

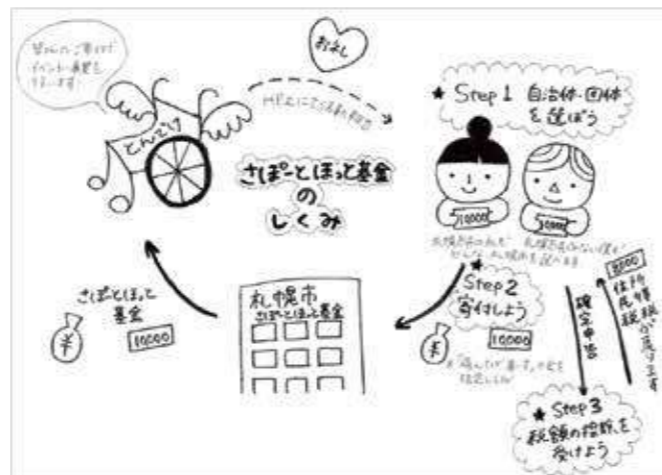
さぼーとほっと基金による寄付の方法

1) 寄付申出書の入手

さぼーとほっと基金より「寄付申出書」を入手します。札幌市市民活動促進担当課に電話して「寄付申出書」を送付依頼するか、さぼーとほっと基金ホームページからダウンロードしてください。

2) 必要事項を記入後、寄付申出書を提出

「寄付申出書」に必要事項を記入し、市民活動促進担当課に送付します。「次の団体のために活用してほしい」という記入欄があるので、そちらに必ず「飛んでけ！車いす」の会とご記入ください。



○特長 3- 高額寄付者にはさらなる特典も

高額の寄付をされた場合、冠基金(寄付者、企業のお名前等を冠した基金)を新設できます。

3) 寄付金の振込

市民活動促進担当課から「寄付申出書」が受領された後に納付書が送られてくるので、金融機関で寄附金(任意の額)を振り込みます(手数料無料)。詳しくは記載のQRコードより、さぼーとほっと基金のホームページをご覧ください。たくさんのご寄付よろしくお願いいたします。



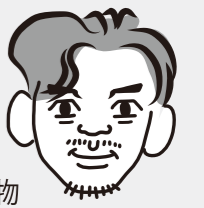
関さんの車いすに関する知識、メンテナンスのノウハウは、とんでけ！車いすで学んでいただくことができました。同じような広がりが増えることを願うと共に、関さんのご活躍も、ぜひ応援させていただきます。

厚別、江別地区で配布されているフリーペーパー「週刊まんまる新聞」に、「とんでけ！車いす」の車いす整備班のメンバーとしてご尽力いただいた関公男さんが紹介されました。

関さんは以前、自動車関連のお仕事に従事。定年後に厚別区に移り住み、それまで培った技術を生かした社会貢献をしたいと「K・V・S(車いすボランティアサービス)」を設立。整備や販売、配送など車いすに関連するあらゆるサービスを行っています。

編集長コラム

はじめまして！ひろひろです



こんにちは！前号から「とべとべ」の編集を担当させていただくことになった西村裕広と申します。ファーストネームが「裕広(やすひろ)」で、珍しい漢字です。周囲の人は「ひろひろ」と読むのがスムーズらしく、いつの間にか呼び名もその様に定着しました。

本業はフリーライターで、20年程編集をお手伝いしている小冊子にノーマライゼーション住宅財団が発行するバリアフリー事例集「ふれあい」があります。年に1度ではありますが、おそらく定期的に発行している全国で唯一のバリアフリーの

事例集です。戸建て住宅の事例をメインに掲載しており、建築物における最新のバリアフリーの事例を紹介しています。取材から撮影、執筆、デザインまで、印刷以外はすべて私が担当しています。お近くの社会福祉協議会などで無料配布されていますが、そういった機関に無い場合はノーマライゼーション住宅財団に直接お問い合わせいただいても入手できますし、「飛んでけ！」の事務所にも置かせていただきます(予定)。またネットでも閲覧できるので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

《お問合せ先》
ノーマライゼーション住宅財団
TEL 011-613-7551
<http://normalize.or.jp>

「飛んだけ」サポーターのご案内

●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

■正会員	一般	5000円/年
	学生	1000円/年
■賛助会員	一般	2000円/年
	団体	5000円/年

●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。

●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方はご協力ください。

●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・海外土産品・商品券(QUOカード等)・中古DVD/CDも集めています。

●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461
【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】※詳細は事務局へ

掲 示 板

< イベント >

- ▼ 2024年度定期総会
日時：5月11日(土)13:30～15:00
場所：市民活動プラザ星園2階・中会議室
総会後にカンボジア事業報告会(15:30～17:00)を開きます。
- ▼ 25周年記念パーティ
日時：5月11日(土)18:00～ 総会の日の夜です。
場所は未定です。

< お知らせ >

- ▼ 車いすの学校 受講生募集中
毎月第2・第4土曜日 13:30～
基本的な車いす整備技術を伝授します。およそ5回の受講で修了証を授与いたします。
- ▼ ボランティア募集中
コーディネーター(英語でメールのやりとりができる方)、車いす整備ボラ
会報編集ボラ、事務作業ボラ

● Web版会報90号

会の活動を広く知っていただくため会報『とべとべ』をホームページで公開しています。
表紙画像をクリックするとPDF版がダウンロード可能です。

URL：<https://tondeke.org/new/wp-content/uploads/tobetobe90.pdf>

● 問い合わせ

「飛んだけ!車いす」の会 事務局(担当：照井・小林)
(事務局は基本的に火曜日と土曜日の午後のみ開設)
電話/FAX 011-215-8824
メール：tondeke@bz01.plala.or.jp

